

祝 令和8年 四万十町 二十歳の集い

小雪が舞う1月2日、窪川四万十会館で「令和8年四万十町二十歳の集い」が行われました。
今年の対象者は115名で、そのうち95名の皆さんが式典に参加しました。式典では出席者を代表して濱町菜那さんが「自然豊かなこの町で、共に育った仲間とこの日を迎えられる幸せに感謝しています」と謝辞を述べました。



実行委員の皆さんに

安全に定時で飛ばせる航空整備士に！
ソフトボールの練習で6年間通った「影野小」が、きつかったけど今は良い思い出の場所。

自分の技術で多くの方を笑顔にする美容師に！
テスト勉強も待ち合わせも、何をやるにも「役場ふれあいホール」が青春の拠点でした。

名のごとく太陽のように周囲を照らす存在に！
地域のお花見会でよく踊りを披露した、「黒石公民館」が懐かしい思い出の場所。

子どもの環境を支えられ社会福祉士に！
中学の帰り道、友人と立ち寄って、買い食いしていた「リュウビ」が、秘密の思い出の場所。

スポーツ選手を裏側から支える職業に！
野球で遊んでいた時、ボールを追いかけて溝に落ちて痛くて恥ずかしい思い出がある「七里小」。

新郎新婦の理想を叶えるプランナーに！
友だちと夕暮れまで水風船やシャボン玉で遊んだ「ポケットパーク」が楽しかった思い出の場所。



羽方唯人さん（米奥小出身）



藤川遥さん（窪川小出身）



池上晃太さん（東又小出身）



門脇和さん（窪川小出身）



佐竹洗人さん（七里小出身）



濱町菜那さん（窪川小出身）

ハタチの『抱負』とこの町の『思い出の場所』を聞きました！

特集

共に20歳。

歩む道は違ってても、

皆が町のたからもの。

20年前に誕生したこの町と同じ時を歩んできた新成人の皆さん。地元で汗を流す方も、遠くの街で夢を追う方も、歩む道は違ってても一人一人が町の「たからもの」です。
輝く笑顔が弾けた式典の様子と、未来を担う彼らの想いをお届けします。

